

2020～2021年度
越谷東ロータリークラブ

○ ○
委 員 会 活 動 方 針
年 間 行 事 予 定 表
年 間 プ ロ グ ラ ム 予 定 表
○ ○

会場監督(SAA)

S A A：小暮進勇

副SAA：鈴木裕万 平野武志

任 務

会場監督は、例会場の秩序と品格を保持する任務、その他通常その職に付随する任務を行う。

[方針・抱負]

五十嵐久幸会長が掲げたクラブ運営方針『皆で参画、皆で分かち感動』というテーマを尊重すると共に、『すべての会員が生き生き伸び伸びと奉仕活動に取り組み、個々の成長とともに「選ばれるクラブ」に発展する』というクラブビジョンが達成出来るよう協力して参ります。

また、会長方針の五項目を着実に実施していくことに副S.A.Aの鈴木裕万さん平野武志さんとも協力をし任務を務めて参ります。

会 計

会 計：阿部朋博

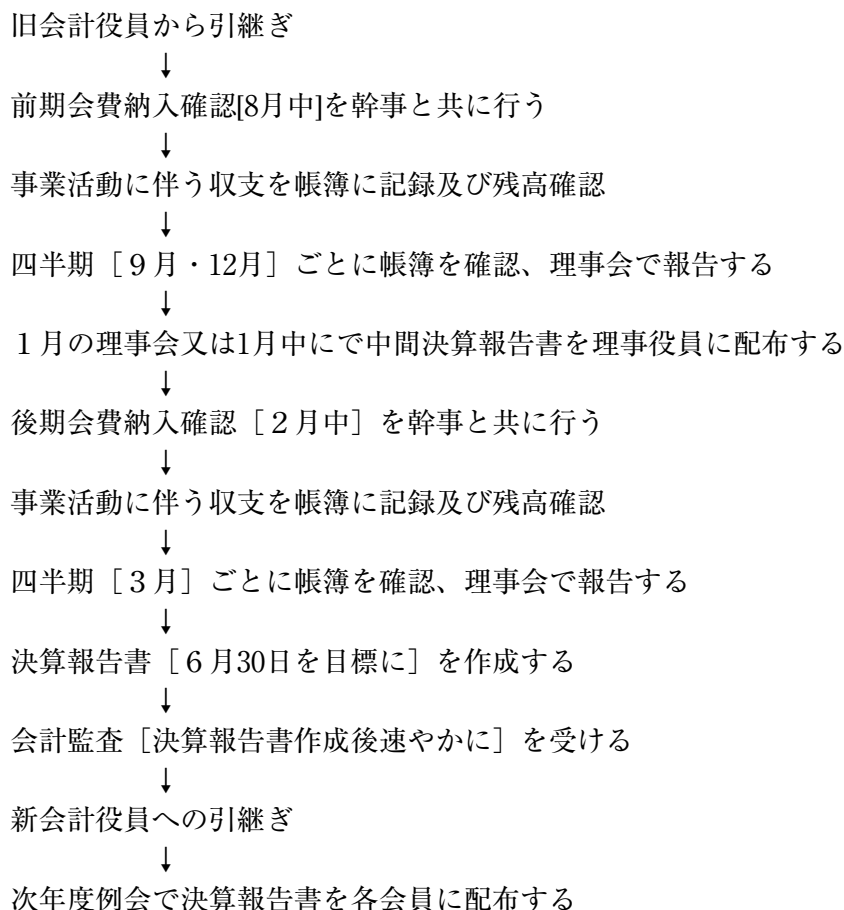
任 務

会計は、本クラブの資金をすべて管理保管し、毎年1回及び理事会の要求があったときその説明をする任務、その他通常その職に付随する任務を行なう。〔会計が退任するときは、保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者若しくは会長に引き継がなければならない。〕

[方針・抱負]

年度計画書を再確認し歴代の会計を担当された方々の共通点となる言葉が浮かびました。その言葉は「信頼」です。この言質を引き継ぐこととなりました。会長要望を踏まえ「信頼」して頂ける会計に邁進致します。

〈1年間のフローチャートを記します〉



会計監査

会計監査：原 美光

任 務

会計監査は、会長・会計より報告された当該年度の予算、決算執行を厳密に監査する。

[方針・抱負]

会長要望を踏まえ、会計処理が適正に行われているかを検証させていただきます。

会員増強部門

委員長：大野祐肇

小委員長：畔上順平 佐久間 誠 岡崎愛子

任 務

この部門は、クラブ活性・強化の為、出来る限り若く明るく、優れた人材を増強すると共に新入会員のオリエンテーションまた、現会員の退会防止を考案、実施することを任務とする。

[委員会方針・抱負]

今年度のクラブビジョン「選ばれるクラブ」に発展していくために、小委員会（勧誘委員会・会員選考維持委員会・オリエンテーション教育委員会と連携を取り、会員増強及び会員維持を強化し、今以上に、「楽しいクラブ」を目指して行きます。

《勧誘委員会》

委員長：畔上順平

副委員長：鈴木二之将

委員：

任 務

この委員会は、絶えずアンテナを高く持ち、現会員の協力などを得ながら、職業分類維持委員会と連絡を密にとり、会員候補者を理事会に推薦するよう積極的に努めると共に有効な退会防止策を考案し、実施する。

[委員会方針・抱負]

勧誘委員会では、新規会員候補に相応しい人材発掘に積極的に取り組んで参ります。

具体的には会員選考維持委員会と連携を取りながら

- ①40代50代の比較的若い世代の方
- ②女性経営者
- ③職業分類項目で未充填分野の方

を主たるターゲットとします。

増強と維持をテーマとしたフォーラムを数回開催すると共に、新入会員の例会参加を促すための方策をオリエンテーション教育委員会と連携を取りながら検討していきたいと思っております。会員の皆さま全員からの情報が勧誘の第一歩となります。思い当たる方がいらっしゃいましたら、委員長、副委員長までご一報いただければ幸いです。

《会員選考維持委員会》

委員長：佐久間 誠

副委員長：宮下智之

委員：

任 務

この委員会は、会員候補者として推薦された者について、職業分類と会員資格を調査し、理事会に報告しなければならない。またこの委員会は、毎年度できるだけ早く地元の地域社会の職業分類調査を行い、充填、未充填の職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は、現会員の有する職業分類を見直すことができる。

[委員会方針・抱負]

1. 越谷東ロータリークラブの定款第8条職業分類に基づき未充填の分類を充足し勧誘委員会を通し理事会へ報告いたします。
2. 会員候補者が挙がりましたら、推薦された候補者の職業分類と会員資格調査を行い、理事会に報告いたします。
3. 会員の「増強」と「維持」をテーマにしたフォーラムを勧誘委員会と協力し、それぞれ2回ずつ委員会を開催いたします。

《オリエンテーション・教育委員会》

委員長：岡崎愛子

副委員長：浜野隆浩

委員：山崎勝己

任 務

この委員会は、ロータリーの友誌などを使用して、会員に奉仕の心、奉仕の実践に関する情報を提供すると共に、すべての会員を対象とするロータリー研修会を年2回行なう。また会員候補者に対しロータリークラブの会員の特典と責務に関する情報を提供し、入会してから最初の1年間、新会員のオリエンテーションを実施する。さらに、公共イメージ委員会に対し一般向けのロータリー情報を提供する。

[委員会方針・抱負]

会長の要望通り、毎月 月初めに「ロータリーの友」の紹介をします。

また、ロータリー研修会と新会員に対してのオリエンテーションと炉辺会合を一緒に開催致します。(開催予定月は9月と2月)

クラブ管理運営部門

委員長：会田皓章

小委員長：栗田晴巳 大内一幸 中村 猛 似内眞也 松浦和人

任 務

この部門は、五大奉仕部門のうちの「クラブ奉仕部門」であり、親睦のうちに、クラブ内部に関する委員会活動を行い、クラブの各種機能を充実させるとともに、会員一人ひとりが自己を高め「奉仕の心を育成する」ことに関する包括的な立案と実施を任務とする。

[委員会方針・抱負]

ロータリアンにとって例会に出席する事が楽しみであると思う会員が多いクラブは活気に満ちている。例会出席が義務的に感じてはいけない。むしろ出席しないと損をする。だから権利なんだと思える例会の開催が望ましいと考えます。そのために私たちは学ばなければいけない。例会の場で楽しく学ぶ事によって親睦はさらに深まる。そのために5委員会の連携を図り、実りあるクラブ運営が実行できるよう部門活動を行って行きたいと考えます。

《未来委員会》

委員長：栗田晴巳

副委員長：秋山 坦

委員：青木伸翁 青柳 聡 平林照雅 村木龍男

任 務

この委員会は、クラブの発展のため、会員の研修方法の研究と提案をするものとし、研究、提案、検討に当たっては、広く会員の意見を聞き、その意見を反映するよう努めるものとする。

[委員会方針・抱負]

会員がクラブに入会していて、良かったと思える組織にする為、問題点を洗い出し、その対策を委員会・例会（フォーラム）に於いて、改善へ対処して行きます。

当クラブ運営上、問題点と思われるものを委員の皆様と相談した結果を下記に記載しました。その中から、最重要と思われる事項を洗い出し、例会フォーラムを開催し全会員と共に話し合っ
て、良い改善策を見つけたいと思います。

例会（フォーラム）は、前期（9月か10月）、後期（4月か5月）に1回開催予定です。

当クラブ運営上、問題と思われる内容

- ①100%例会が、クリスマス、南クラブとの合同例会、最終例会等で発表されるが、きちんと出席率を発表した方が良いのでは？
- ②誕生祝い品、結婚祝い品のどちらかを当該年度の会長が負担をするが、全て会費内で良いのでは？
- ③市民まつりの交通安全パレード、大道芸担当は、継続担当したままで良いか？
- ④スマイルと米山・財団への寄付のやり方は今のままで良いでしょうか？
- ⑤青少年交換留学生の受け入れについてのご意見は？
- ⑥米山奨学生の受け入れについてのご意見は？
- ⑦年会費は、30万円で別途に事業ごとに会費を負担する方法は、今のままで良いでしょうか？
(クリスマス・最終例会・会員旅行など)

《プログラム委員会》

委員長：大内一幸

副委員長：阿部朋博

委員：清村忠雄 鈴木裕万 千葉宏之

任 務

この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のプログラムを準備、手配する。

[委員会方針・抱負]

- ・会長のクラブ運営方針を委員会メンバー全員でよく理解し、好意と友情をさらに深められるよう誠実に活動を行います。
- ・今年度は新型ウィルスの感染拡大防止という厳しい社会情勢ですが、RI2770地区ともよく連携し、効果的なプログラムを企画します。
- ・年間を通して、各委員会の皆さまにご協力をいただきながら時局に合致したタイムリーな例会プログラムを構築いたします。

《出席委員会》

委員長：似内眞也

副委員長：富澤春男

委員：梶原直樹 仁多見英一 皆川健三 守屋トミー

任 務

この委員会は、本クラブ例会への出席率を高め、例会に出席できない場合のメイクアップを積極的に奨励する。また、原因となる諸事情を調査し、可能な限りこれを除去するよう努める。

〔委員会方針・抱負〕

1. 例会案内（プログラム）を、会員の皆様に極力早めにご連絡する。
2. 適宜、委員会を開催し、出席率の向上を目指し、話し合いを行う。
3. 例会に出席できない場合のメイクアップ、出席不良の原因となる諸事情を調査し、会員の皆様のご協力を得ながら除去に努める。
4. 出席当番のシフトを決定し、委員会全員が、元気な笑顔でゲストの方、会員の皆様を迎えられるように邁進する。

《会場運営委員会》

委員長：松浦和人

副委員長：高橋 功

委員：大野豊次 小林賢弘 鈴木朝夫

任 務

この委員会は、例会、その他の会場の設営と司会進行を行う。

[委員会方針・抱負]

- ・今年度RIテーマ『ロータリーは機会の扉を開く』に基づき、また会長要望に応えるべく、例会の始めから終わりまで、明るく楽しい雰囲気作りをするために委員の皆様と意見を出し合い、また、各委員会の皆様とも協力しながら努めてまいります。
- ・昨年度までの会場運営委員会の皆様が取り組んできた取り組みを踏襲し、円滑な運営をすべく会場監督（SAA）と協力しながら、準備・進行をしてまいります。
- ・他クラブとの合同例会、その他例会場外での例会開催時においては、他クラブを始め関係者と連携し、円滑な運営を図ってまいります。
- ・ドア当番につきましては、これまで通り入口に貼り、担当会員の方には事前に事務局よりご連絡いたします。
- ・司会進行にあたっては、『元気に』『明るく』を心がけてまいります。

奉仕プロジェクト部門

委員長：加藤盛也

小委員長：浜野隆浩 北林隆一 小林賢弘 佐久間 誠

任 務

この部門は、ロータリーに求められる地元の地域社会及び国際社会における職業上、人道上、教育上の各種ニーズに応える活動の企画と奉仕の実践を任務とする。

[委員会方針・抱負]

会長要望の世界平和を実現するために奉仕部門4委員会の活動を活発にします。

また、人類に課せられたコロナウイルス感染による未曾有の難局に対し、会員一人一人が試練を乗り越え、新たな社会の基軸造りに貢献できる奉仕活動を全員で参加できるように注力していきます。

《職業奉仕委員会》

委員長：浜野隆浩

副委員長：平林照雅

委員：天田 裕 小暮進勇 鈴木朝夫 鈴木二之将 高橋 功
 富澤春男 宮本正行 皆川健三

任 務

この委員会は、職業奉仕理念の情報を提供すると共に、本クラブ会員がその職業における諸責務を遂行し、それぞれの職業における倫理水準をより一層引き上げるうえに役立つような方策を考案、実施する。

[委員会方針・抱負]

会員同士が事業及び専門職を再確認し、その中で得た経験や対応方法を活用し、職業奉仕の理念を実践して社会から尊重される存在に成ると共に新型コロナウイルスに対しても職業奉仕を通じて何かできないかを模索して行きます。

1. 例会時（第1例会）に四つにテスト・ロータリーの目的の唱和を実施します。
2. 職業奉仕についての職場見学の実施します。
3. 自分の職業を絡めた会員卓話やロータリーの会員や会員以外の卓話を企画します。

《社会奉仕委員会》

委員長：北林隆一

副委員長：隅田 敏

委員：畔上順平	大野豊次	株竹眞次	島根常二	杉下 智
千葉宏之	中村 猛	橋本政行	松浦和人	南 千加江

任 務

この委員会は、本クラブ会員並びに本クラブが、地元の地域社会、次世代を担う青少年に対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案、実施する。

[委員会方針・抱負]

RIテーマ『ロータリーは機会の扉を開く』を念頭に置き、下記のプロジェクトを会長要望に従い、委員の皆様と意見を出し合い、協力して実践いたします。

1. スマイル

例会でのスマイル担当を委員会メンバーで分担し、時間厳守でご紹介します。

2. 越谷市民まつり

①交通安全パレードを他主催団体と協力して運営します。

②大道芸イベント等を実施し、インターアクトクラブの皆様にも協力していただき交通遺児チャリティー募金活動を実施します。

3. 第19回越谷市高校野球大会

高校球児だけでなく、地域の皆様楽しんでいただける大会となるよう委員の皆様を中心に、大会の成功に努力します。

4. 市内ごみゼロ運動

市内ごみゼロ運動を全会員と越谷東高校インターアクトクラブの生徒と協力して実施します。

5. 地区補助金事業

重症心身障害児デイサービス施設『kids花音』に障害児用チャイルドシート等を寄贈し、重症心身障害児とその家族及び介助スタッフをサポートします。

6. ペットボトル回収

ペットボトルキャップの回収を会員全員に周知して実施します。

7. 新型コロナウイルス対策支援

全会員に理解・協力を仰ぎ、新型コロナウイルス対策への支援を実施します。

《国際奉仕委員会》

委員長：小林賢弘

副委員長：守屋トミー

委員：飯山勝司　大沢昌太郎　梶原直樹　中村　昇　似内眞也

任 務

この委員会は、本クラブ会員並びに本クラブが、国際奉仕に関する事項においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案、実施する。また、姉妹クラブとの交流を深めるため相互の連絡、調整を行ない、これに加え新しい交流先を模索する。

[委員会方針・抱負]

1. 姉妹クラブ台中港北区扶輪社の35周年記念式典及び会長交代式へは、国際大会の日程により参加しません。従って参加企画も行いません。
2. 2021年6月の国際大会は、台湾の台北で開催されます。隣国の台湾は、1～2泊でも参加が可能な近距離なので、台中港北区扶輪社35周年のお祝いと次年度の我がクラブ35周年のキャラバンを兼ねて1人でも多くの参加をいただけるように、また例年のことですが五十嵐年度最終例会とのタイトな日程をクリアできるよう最善な企画をします。
3. フィリピン グレートマリキーナバレー RCと合同のグローバル補助金事業は、未だ不透明ではありますが、実施に向けてグローバル補助金委員会（特別委員会）と連携して検討していきます。

グローバル補助金委員会(特別委員会)

委員長：大野祐肇

副委員長：阿部朋博・宮下智之

委員：五十嵐久幸・大野豊次・岡崎愛子・田中基章・原　美光・山崎勝己　以上9名

《青少年奉仕委員会》

委員長：佐久間 誠

副委員長：大野祐肇

委員：青柳 聡 榎本裕希 栗田晴巳 仁多見英一 村木龍男

任 務

この委員会は、埼玉県立越谷東高等学校インターアクトクラブを提唱クラブとして、本クラブの会員並びに本クラブが、次世代を担う地元の青少年、インターアクトクラブに対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と支援をして行く。青少年交換留学生在が目的を円滑に達成するために、学校関係、ホスト・ファミリー関係等を支援する。本クラブに関係した、元青少年交換留学生、元米山奨学生、元財団奨学生等のネットワーク作りをし、世界的親交を深め、国際親善と平和に貢献すると共に、明日のロータリアンとしての会員増強に努める。

[委員会方針・抱負]

1. 委員会の方針

会長要望の実現に向けて具体的なアクション・プランの策定と現実の行動をフィードバックする機会をつくりたいと思います。

2. 委員会の抱負（コミット）

- ①越谷東高校インターアクト・クラブに対し、市民まつり及びごみゼロなどの事業への参加をサポートします。
- ②越谷東高校インターアクト・クラブが遂行した事業活動報告を年2回程、例会にて発表してもらうことを通して、インター・アクト生のプレゼンテーション力・リーダーシップ力の向上に貢献します。
- ③2770地区と韓国3750地区の青少年交流事業においてインターアクト生の短期訪韓と訪日受け入れをサポートするとともに（短期ホスト・ファミリーの募集含む）「インターアクト生の声を」通して当該事業の価値と意義を会員の皆様にもお伝え致します。
- ④叡明高校と積極的なコミュニケーションを図り、良好なお付き合いを継続いたします。

《公共イメージ委員会》

委員長：株竹眞次

副委員長：南 千加江

委員：飯山勝司 榎本裕希 北林隆一 杉下 智

任 務

この委員会は、広く一般に本クラブの奉仕の実践とロータリーの目的、その歴史等について、適切な宣伝を行う方策を考案、実施する。またこの委員会は、クラブ週報の刊行を通じて、会員のロータリーへの関心を促し、出席率の向上と親睦の増進に寄与するため、前回の例会の重要事項を報告し、次回の例会の重要プログラムを予告する。全会員の奉仕活動に関するニュースをロータリーの友誌などに投稿するよう努める。またこの委員会はITおよびSNSを利用し地区、クラブ等の情報をすべて管理し、これを速やかに関係各会員、各委員会等へ伝達するものとする。

[委員会方針・抱負]

会長要望に則り、広くロータリークラブの広報が出来るよう委員会一丸となって努力してまいります。

《ロータリー財団委員会》

委員長：青木伸翁

副委員長：浅水輝子

委員：大内一幸 清村忠雄

任 務

この委員会は、資金的寄付と財団プログラムへの参加を通じ、ロータリー財団を支援する。

年次寄付目標

- ①クラブ会員一人あたり 200ドル
- ②ポリオ根絶 〃 50ドル
- ③ベネファクター 1名 1,000ドル以上

[委員会方針・抱負]

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

そして、非営利組織であるロータリー財団は、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の自発的な寄付のみによって支えられています。

ロータリー財団の使命、目的をしっかりと理解していただくために、勉強会等を開催いたします。

そして、その理解の上で、ロータリー財団への寄付をお願いしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

1. クラブ目標の達成

- ①クラブ会員一人あたり 200ドル
- ②ポリオ根絶 〃 50ドル
- ③ベネファクター 1名 1,000ドル以上

2. 新型コロナに関する支援活動

3. ロータリー財団の使命、目的の理解推進活動

《米山記念奨学委員会》

委員長：岡崎愛子

副委員長：平野武志

委員：秋山 坦 原 美光

任 務

この委員会は、資金的寄付を通じ、日本ロータリーの創立者米山梅吉翁の遺徳を継承するロータリー米山記念奨学会を支援する。

○米山記念奨学会の寄付金、会員一人当たり¥25,000を会員の皆様に寄付をいただけるように理解していただく。

[委員会方針・抱負]

米山記念奨学会はロータリーの理想とする国際親善と国際平和に貢献することをその目的にしています。この目的を達成するため、日本の大学に在籍している外国人留学生に奨学金を支給しています。そして財源はロータリアンからの寄付がその主なものとなっています。会員の皆様にこの奨学生制度をよく理解して頂いた上で、浄財を募りたいと思います。

1. 会員一人当たり寄付目標金額 25,000円以上（普通寄付5,000円と特別寄付合計）

普通寄付：半期ごとに各クラブで決定した金額

特別寄付：任意でいただく寄付

（個人寄付、法人寄付、クラブ寄付、下限上限はありません）

2. この奨学制度をご理解頂くため、外部卓話、内部卓話を企画します。

3. 中国からの留学生、張朝焱さんの世話クラブとして、張さんとの交流を更に深めていきます。